



●市内の出来事や、頑張っている皆さんの姿を紹介するコーナーです。



▲贈呈式の様子

## モンゴル国×燕市 交流を記念したフレーム切手が発行されました

●8月24日 燕市役所

「東京 2020 パラリンピック」の開幕に合わせて、モンゴル国パラアーチェリー選手団とホストタウンである燕市との交流を記念したオリジナルフレーム切手が、日本郵便株式会社様より限定販売されました。フレーム切手にはモンゴル国のパラアーチェリー選手団の練習風景や、両国の名所・文化がモチーフとして華やかに彩られています。



英語で伝える  
「燕の新しい魅力」  
●8月28日 文化会館

小・中学生を対象とした英語スピーチコンテストを開催。コロナ禍で例年と大きく異なる環境でしたが、皆さん明るく、テーマである「燕の新しい魅力」を発表していました。



選手の食を支えた  
オリパラカトラリー  
●9月14日 燕市内

東京オリンピック・パラリンピックの選手村食堂で活躍した燕市製「おもてなしカトラリー」が帰郷。今後は教育・福祉施設などでの活用を検討していきます。



若者たちが通水100周年を盛り上げます！  
●8月25日 燕三条 Wing

つばめ若者会議れっつばめと新潟経営大学中島ゼミ、LoveRiverNetの三者が「大河津神社」でPR。来年8月25日に大河津分水は通水100周年を迎えます！



燕大学 今年度のテーマは「大河津分水・長善館」  
●8月28日 中央公民館

通水100周年に合わせたテーマで深く掘り下げた全3回講義の1回目。建設に至るまでの先人たちの苦労と大河津分水の恩恵を改めて感じることができました。

大キセル展〜丸山コレクションのすべて〜

燕市産業史料館では、10月15日(金)から11月21日(日)まで「大キセル展〜丸山コレクションのすべて〜」を開催します。

燕は江戸時代から喫煙具のキセルの産地でした。現在も日本で唯一のキセル職人が活躍しているだけでなく、キセル産業は、現在の金属加工技術の原点にもなっています。

燕出身の実業家・丸山清次郎さん(1900-1982)も、16歳でキセル職人になり、20歳でキセルや喫煙具の販売を東京で始めました。パイプ、シガレットケース、ライターへと商売を広げていくなかで、商売と密接な関係のある「彫金の優れたキセル・たばこ入れ」の収集を始め、やがて「丸山コレクション」と呼ばれ、当館に寄贈されました。

近年、作品保存のために展示数を絞っていましたが、キセルとたばこ入れがセットになった「組み物」55点を、18年ぶりに一挙公開します。この機会に、日本最高峰の工芸技術の奥深さをぜひご覧ください。



燕市産業史料館  
☎ 0256・63・7666  
休館日：月曜日  
■入館料  
大人400円、高校生以下100円  
※団体割引あり



▲大洪水が流れる大河津分水路の河口  
(提供：信濃川河川事務所)

以上も高くなったこととなります。

この洪水では、氾濫危険水位が約12時間にわたって超過しました。堤防は主に土で構成されており、洪水に長時間さらされると堤防自体が弱くなり、堤防が崩れてしまう危険性が高まっています。幸いにも大洪水を日本海へ流し続け、私たちの命と暮らしを守ってくれた大河津分水。その姿から「Twitter」では「#大河津分水の本気」というタグが広まり、多くの人たちが分水路の大切さを実感した出来事にもなりました。現在、「令和の大改修」と銘打って、河口部をおよそ100m拡幅する工事が進んでいます。

もし、大河津分水がなかったら…。改めて大河津分水を実現してくれた先人達に感謝するとともに、いざというときに自分の命を守る行動を実践することの大切さも備えておきたいものです。



大河津分水が通水してからおよそ100年の中で、大河津水位観測所の最高水位17・06mを記録した洪水が令和元年10月13日でした。水位がピークに達したのは午後3時10分頃。いつもは11・6m程度の水位が5m

## 地域おこし協力隊の奮闘日記 vol.43

この夏、人生で一度は挑戦したいことの一つである「ヘアドネーション」をしました！病気などでウィッグを必要としている人の役に立てたらと、思い立って伸ばすこと3年。腰まであった髪を40cmほど切り、首元が涼しくなりました☆

さて、去る8月15日に「お盆の空き家総合相談会」を開催しました。空き店舗を活用してほしい、今住んでいる家が空き家になったときのことを考えたいなど、空き家が朽ちていくのをただ待つのではなく、『何とかしよう』という気持ちを持ってお越しいただけたこと、とても嬉しく感じました。

相談会は11月にも開催する予定です！詳しくは6ページをご覧ください。



空き家バンクイン스타그램を始めました。

燕市地域おこし協力隊  
あしかわ 青川  
ひろこ 藤子

